

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self- A 広島 海
住所	広島市佐伯区五日市駅前 2 - 1 5 - 2
電話番号	0 8 2 - 2 0 5 - 9 6 1 4

事業所番号	3410212090
管理者名	鎌田 憲宗
対象年度	令和 3 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

1 活動場所

広島市安芸区瀬野4丁目1279 瀬野農園

2 実施日程

令和1年7月より、1回～4回/月の実施

3 実施した生産活動・施設外就労の概要

果樹園の栽培に関する補助作業

- ・果物の摘果 袋掛け 出荷
- ・果樹園内の整備補助 保護ネットのセット 草取り等

4 利用者数 等

・4名～6名/1回

<目的>

地域連携活動のねらい

地域の中で人手不足が顕著である農業経営者と連携を図ることで、農業事業者は、人手の解消及びコストカット。弊社としては、地域経済との結びつきをを図ると共に弊社としての生産活動の向上、利用される方の体力づくり及び自然の中の活動からのリフレッシュ効果を目的とした。

<成果>

他の施設外就労及び内部作業が少ない場合に業務を1回～4回/月実施。開放的な環境で仕事をすることで、精神的な安定が図れ、利用者の出勤率が上がる効果は見られた。

しかし、定期的な作業を行えないことで、仕事の成熟度が上がりにくい。仕事への積極性が維持しにくいといった課題が上げられた。

<活動の様子>

袋掛け作業



草取り作業



連携先の企業等の意見・感想

連携した結果に対する評価

作業を行ってもらえて、人間的 経営的なメリットを得ることができた。そして、地域果樹園の維持とともに社会貢献の一翼を担うことができたと感じている。

今後の連携強化に向けた今後の課題

働く時間が短く 不定期な実施であることから、作業の内容が広がらない状態が続いている。より連携を深めるためには、スキルの向上（作業内容の拡大）定期的な作業実施（体力強化も含む）が必要

連携先企業名

瀬野農園

担当者名

中村勝三郎



就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self-A 広島 海	事業所番号	3410212090
住所	広島市佐伯区五日市駅前2-15-2	管理者名	鎌田 憲宗
電話番号	082-205-9614	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

1 連携企業 株式会社 神保
 実施場所 株式会社神保 本社工場 広島市西区草津港1丁目10-14

2 実施日程
 令和 1年7月より 3日/週の実施

3 実施した生産活動・施設外就労の概要
 惣菜 焼き魚 弁当仕出し専門店（持ち帰り、ネット販売）食品卸会社と連携し、本社工場内において、事業所内の「清掃業務」及び「納品材料のチェック等の受け取り業務」を実施。

4 利用者数 等 作業時間：9時～12時 実施人数：4名～6名

<活動の様子>

清掃作業



清掃作業



<目的>

地域連携活動のねらい

本社工場内の清掃や納品材料チェックは、業務多忙の中社内職員で実施。地域の中で、福祉事業を展開する弊社は、生産活動の向上と体を動かして働くことが、マッチされる利用者の方、社会に近い形での働き方希望される方への対応が急務となっており、連携することによって双方の課題をクリアしていくことを目的とした。

<成果>

- ・マニュアルに沿って、階段、水回り、食堂、会議室等で作業を実施することで、対応力向上、体力向上に繋がる。
- ・外部業者、社内職員の方と挨拶や事務的な納品チェック、報告等を行うことで、対人スキルの改善に繋がる。

しかし、コロナの影響から、実施日が5日/週から3日/週に実施日が減少したことから、一定のスキルを維持する。新しい利用者の方がチャレンジしにくいといった課題が上げられた。

連携先の企業等の意見・感想

連携した結果に対する評価

作業を委託して、従業員の負担軽減、人力的 経営的なメリットを得ることができた。そして、地域に根ざす会社として社会貢献の一翼を担うことができたと感じている。

今後の連携強化に向けた今後の課題

今後、連携を深め、事業として展開するのであれば、年末年始 GWの営業を連携先の営業日合わせる。（ローテーション）参加される利用者の方へ、作業量、スキルの向上を求めたい。

連携先企業名	株式会社 神保	担当者名	代表取締役社長 神保健一
--------	---------	------	--------------